



2025 年 10 月 17 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 J M C
代 表 者 名 代表取締役社長 渡 邊 大 知
兼 C E O
(コード番号：5704 東証グロース)

問 合 せ 先 取締役兼 C F O 篠 崎 史 郎
(TEL. 045-477-5751)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 2 月 14 日に公表しました 2025 年 12 月期（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）の通期に関する業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期 通期業績予想数値の修正（2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 3,300	百万円 240	百万円 230	百万円 150	円 銭 26.88
今回修正予想（B）	3,130	20	12	6	1.08
増 減 額（B－A）	△170	△220	△218	△144	
増減率（％）	△5.2	△91.7	△94.8	△96.0	
（参考）前期実績 （2024 年 12 月期）	3,072	88	122	50	9.08

2. 修正の理由

2025 年 12 月期は、当社の主要顧客である国内自動車メーカーでの E V（電気自動車）開発が勢いを取り戻し、試作・開発市場の製造案件量も回復の途上にあります。

このような状況において、当社では主力の鑄造事業で、顧客の高い品質要求の達成や、量産を見据えた新たな開発プロジェクトでの試作フェーズに対応する施策を粛々と進めてまいりました。

とりわけ、鑄造工程での新合金材への取り組みや、高難度の鑄造基幹部品の製造技術習得、また従前より継続している大型鑄造品の量産需要の取り込みを強力に推進したものの、新規要素が強い一部の製造案件では、要求品質を満たした製品の安定的な確保に時間を要したことで、生産コストを想定以上に費やす結果となりました。

現在に至るまで、受注案件量増加の継続性や、製造部門を中心とした生産コスト改善の取り組み進捗に加え、鑄造以外の事業セグメントにおける足下の状況を織り込みながら、通期業績の見極めを続けておりましたが、鑄造事業において見通し修正値が、売上高 2,060 百万円（前回予想売上高比△140 百万円、△6.4%）、営業利益 50 百万円（同利益比△190 百万円、△79.2%）と、利益項目において、生産コスト増加による影響を補いきれない見通しが強まったことから、前回予想の修正を余儀なくされました。なお、3 D プリンター事業および C T 事業の売上高・セグメント利益は、概ね想定どおり推移しております。

また、鑄造事業の業績回復の遅れを踏まえ、B to C ビジネスとして進めておりました、レストア関連部品の製造を終了いたします。これによる業績への影響は軽微であります。同時に、鑄造事業セグメントの事業基盤の見直しも実施してまいります。



（注）上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかに業績への影響をお知らせいたします。

以上